

品質向上に貢献し、安心・安全なICT社会を実現する

VALTES

For Quality Confidence



未来、そこに 「最高のソフトウェア品質」を

IT社会の進化のもと、便利になり続ける生活。

その一方で、高まり続けるリスクがある。

技術革新が急激な現代において

品質のプロ集団が掲げる“揺るぎない使命”とは。

Value created through Testing

品質のプロ集団が 揺るぎない使命



We are the only one.

技術革新が急激な時代には、
われわれの深化した力が必要になる。

日常生活にソフトウェアが広く浸透していく中、
品質保証の重要性を感じ2004年にバルテスを立ち上げた田中。
ソフトウェアテスト業界のパイオニアが語る、品質保証にかける想いとは。

未来、そこに 最高のソフトウェア品質を

品質のプロ集団を育てる

バルテスがメイン事業としているテスト業務は、ソフトウェア開発をする上で重要な役割であるにもかかわらず、プロが育ちにくい状況にありました。実際、私が以前、経営していたソフトウェア開発会社もテスト業務は、ほぼ社内で行っていました。当時は、専門会社がほぼなかったので、多くのソフトウェア会社がテスト業務は社内でも実施していたのです。

ただ、大抵のエンジニアは開発業務を第一に手掛けたいと希望します。テストは地味な印象がありますからね。テスト業務が敬遠される環境で、いい人材が育つはずもない。それならいっそのこと、テスト業務の専門会社を立ち上げて、テストのプロ集団を作ろうと考えたのです。

独自のメソッドを1つ1つ作り上げ、 業界標準に

起業当時、ソフトウェアテストには、テスト計画、設計、実施をはじめとする体系的な手法、ノウハウがありませんでした。そのため、技術や知見のあるアメリカの事例を研究しながら、社内勉強会を開き、業界標準となるテスト設計や技法などのメソッドを1つ1つ作り上げていきました。

その結果、体制が整い始めた2年目から、仕事が次々に舞い込んできました。2005年ごろは、カーナビや携帯電話、複合機などさまざまな家電製品の新機種が続々と開発され、テレビはアナログからデジタルに移行する時期。ソフトウェア開発会社が社内ではこなせないほど、テスト業務が発生していたのです。そして、その後、組込系からwebやスマホ、エンタープライズ(業務系)へと領域を広げたこ

とにより、年間数百件単位で案件が増え、今では累計1万件ものテスト業務に着手。品質の重要性が浸透してきていると感じています。

念願の上場を令和で果たす

日本国内のソフトウェア開発市場は15.5兆円程度、その中でテスト工程が占める割合は約1/3。つまりソフトウェアテストの潜在市場は、日本国内では約5.5兆円となります。しかしながら、テストを外委託しているのはほんの数%であり、まだまだ未開拓の市場とも言われています。そこで、より多くの人にソフトウェアテストという業界があるということを知ってもらうきっかけを作るために、上場しようと決意したのです。

設立から売上が年々拡大し、創業4年目には10億円を超える売上を出していました。ところが、あと1年頑張れば、上場ができる!その矢先にリーマンショックが起こり、上場の話は

掲げる



代表取締役社長 田中 真史

1962年、大阪府生まれ。高校卒業後、中小ソフトハウスに就職し、4年間、SE/PGとして従事する。その後、フリーのエンジニアとして活動。1990年にソフト開発会社を設立し、代表取締役に就任する。約15年間の経営の後、後進に事業譲渡。ソフトウェアテストのプロ集団の必要性を実感し、2004年にバルテス株式会社を設立、代表取締役社長に就任。2019年5月に上場を達成する。

白紙化。すべて仕切り直しになってしまいました。それでもなんとか1年間で単年度黒字まで回復することができましたが、この経験から「どんな状況でも必要とされるエンジニア」を育てなければならぬと感じ、教育体制の充実に舵を切りました。以後は業界内では真似することが難しい水準の教育体制を整備。時間はかなりかかりましたが、その甲斐もあって順調にエンジニアのスキルが高まり、業績も向上。2019年5月に、令和初の上場を果たすことが出来ました。

ジャパングオリティを世界に広めたい

ICT社会の発展と、私たちが展開しているテスト事業は、今後ますます切っても切れない関係になっていきます。AIや5G、IoT製品の進化には、私たちも必ず順応しなくてはならない。テスト自動化サービスの改良も続けます。特にIoTは、市場規模も拡大していくこ

とに加え、様々なサービスが複雑に絡み合ったシステムであるため、テストは非常に重要な工程になると言えます。また、日本だけでなく、海外での必要性も高まっていくはずです。英語圏の仕事は日本の10倍以上の市場規模。バルテスメソッドを英語化し、フィリピンなど海外の方の教育も徹底し、ジャパングオリティを世界に広めていきたいと考えています。

一緒に安心・安全なICT社会の実現へ

安心・安全なICT社会を実現するために、私はバルテスを立ち上げました。そのためには、技術を磨き続けなければいけません。社員のみなさんが勉強できる環境を整えるだけでなく、社外の皆様にもバルテスが持っている知識をあらゆる方法で提供しています。この先、私たちの体系的なテストメソッドが業界標準となれば、エンジニア全体の質が高くなる。そして、お客様のソフトウェア製品、

サービスの質も上がることで社会全体の押し上げになる。これが、私たちが考えている、安心・安全なICT社会の実現です。もしもお客様にそのリソースがないのであれば、バルテスグループで請け負います。品質に対する揺るぎない自信を持って、お客様の製品、サービスと向き合います。私たちの事業の意義、そして想いに共感してくれる方がいたら、是非一緒に世界を変えていきましょう。

VALTES
FOR QUALITY CONFIDENCE

テストノウハウの習得は、 エンジニア人生におけるアドバンテージ

エンジニアの総合的なスキルを磨き続けられる環境のあるバルテス。
将来の選択肢も広がり、理想のキャリアを描くことができるステージが待っている。

顧客志向と柔軟性が高いバルテスの人材

角谷:バルテスは、ソフトウェアのテスト専門会社ですが、開発エンジニア時代に品質が上がらず苦労を重ねた方たちが興味を持ってくださることが多いです。

熊本:テストと開発は表裏一体。テストは開発の過程で発生するものなので、開発の進み方や、それぞれのフェーズで抱える問題など、開発プロセス全体を理解しなければいけません。そのため、そのような苦労を重ねた開発経験はテスト、品質コンサルティング業務で大いに生きていきます。

角谷:それに加えて、お客様とより近い立場で仕事をしたいという方も。「自分でお客様に提案したくてもできない」そんなジレンマを抱えていた人が、クライアントとの契約がプライマリーであることが多いバルテスを選んでくれています。

熊本:そういうジレンマを抱えて入社した人たちは、コミュニケーションスキル、とりわけ質問力が高い。バルテスには体系的なテスト手法がありますが、それをそのまま適用するだけでなく、

お客様にとって最善の方法をカスタマイズしながら進めるスタイルを取っています。そのためにも多角的に質問し、相手の要望を知ってそれに寄り添おうとする顧客志向性が重要になりますね。

角谷:顧客志向性と併せて柔軟性も必要ですね。幅広い業界のお客様がいるので、品質の悩みは本当に様々。それに寄り添い、どうしたら品質を上げられるのかを一緒に考えて立ち回れる方は常に勉強を欠かすことなく知識を吸収し、活躍しています。

学ぶ意欲を尊重する

キャリアアップ・教育体制

熊本:テストの経験を積み、エンジニアとしてのキャリアを俯瞰してみたときに総合的な力を身に付けられるので、上流から携わっていける品質コンサルタントを目指したいというメンバーも多いです。また、キャリアパスを考える中で開発を選択するケースもあると思いますが、体系的なテストノウハウを身に付けていることは開発エンジニアとしてもかなりのアドバンテージになり得ます。

角谷:理想のキャリアを描いてもらうために、品質保証のスキルアップには会社として力を入れています。IT業界未経験の方や新卒の皆さんはもちろんですが、キャリア層に対する初動研修がここまで手厚いことは珍しいかなと。

熊本:体系的な知識習得だけでなく実務で活かすことを前提にした研修プログラムなので、その良さは胸を張って伝えられます。入社時研修以外でも、20講座以上の研修が用意されていますし、グループ会社には、開発専門のバルテス・モバイルテクノロジーもあります。未経験の方でも意欲さえあればいつでも学べる環境が整っているのではないのでしょうか。

角谷:研修や業務を通して技術を身に付けることができれば、評価に反映される仕組みをとっています。行動評価だけではなく、エンジニアとしてのスキルを評価していきたいという方針です。

熊本:バルテスは、急成長中の企業だからこそ、完成されている企業では味わえない醍醐味があります。そういった環境やエンジニアとしての総合力を求めている方は是非入社していただきたいです。

人事×事業責任者対談



コーポレートブランディング本部
人事戦略部
部長

角谷 幸子

Profile: 大学卒業後、大手人材派遣会社で法人営業や学生向けキャリアカウンセリング業務に従事。2009年にバルテスに入社。



第2ソフトウェアテスト事業部
事業部長

熊本 直宏

Profile: 業務システムの開発プロジェクトを中心として15年間ほど、SE、あるいはPMO組織として幅広く開発プロジェクトに携わる。2012年にバルテスに入社。



10年間の開発経験を経て、 品質保証のプロ「クオリティエンジニア」の道へ

成長期で勢いがあり、高いモチベーションを活かせるバルテス。

ステークホルダーが抱える「品質」の課題に挑み、

日々、ユーザにとっての価値を探索し続けるプロたちがここにいる。



プロとして品質の課題解決に 貢献したい

開発業務に長年携わる中で、ステークホルダーが抱える悩みの多くが「品質」にあると捉え、そこに対してプロとして貢献したいと考えた末にクオリティエンジニアという立場を選択しました。その上で、バルテスは成長期にある企業で勢いがあり、高いモチベーションさえあれば活躍の場があると聞き、入社を決めました。

テスト活動を管理・推進しながら、テストを通じて見えてくる課題の予測、分析、解決策提案やその実施に奔走する日々です。

相手の期待以上の価値を出すこと、 そこにやりがい

やりがいを感じるのは、少ない情報と動くソフトウェアだけを渡された状態から重大なバグを複数検出し、顧客を驚かせたときですね。お客様から「ここまでしてくれて、とても助かります」と言われたこともあります。テストに限ったことではないですが、相手の期待以上の価値を出せたと分かる言葉をいただくとき、これまでの努力が報われた気持ちになります。

想像力も武器になる クオリティエンジニアの業務

クオリティエンジニアには、様々な力が必要とされます。テスト計画の立案から推進においては、お客様が持つ品質課題への傾聴力、解決への提案力とフットワークの軽さ、スピード感。テスト実施においては、それぞれに特化したテスト技術への探求心や、検知したインシデントに対する説得力と表現力が求められます。

あとは、意外にも想像力。私の場合、開発時代にユーザ目線でモノづくりをしてきた思考が、そのまま品質向上施策のアイデアに直結していると感じています。時には、開発側の目線に立って物事を考えることで、より浸透しやすい施策の工夫も生み出すことができます。

どこまでも飽くなき探求心を 忘れない

便利な世の中になるにつれ、それを担保する私たちの活躍の場は今後もさらに発展していくと考えます。品質保証の専門家として飽くなき探求心を忘れず、顧客やユーザにとって価値のある存在であり続けたいです。



第1ソフトウェアテスト事業部
エンタープライズシステム品質
サービス部
副部長

豊島 淳之介

Profile: 業務システムを中心として10年ほど開発業務に従事。プロジェクトの上流から下流、保守運用まで幅広く経験。実績を重ねるにつれ、顧客やユーザとの接点を増やし、直接的な要求ベースでのソリューションを手掛けてきた。2018年にバルテスに入社。



若手 CROSSTALK クロストーク

IT未経験者たちが 圧倒的成長を遂げる企業の秘密

ITとは無縁の学問を専攻し、それぞれ異なる道を経てバルテスに入社した3人。
今、ともにクオリティエンジニアとして活躍している理由を語り合う。



未経験でも飛び込もうと思った 魅力ある世界

江原: 大学で語学を学んでいたのですが、いざ就活を始めるときに「英語を使って仕事をしたいわけではないな…」と気づいて、もともと興味があったIT業界への就職を決意しました。クオリティエンジニアのことは知り合いに聞いて知りました。製品を作っても、品質が悪ければ誰にも使ってもらえないし、時には混乱を招くこともある。そう考えると、品質検証ってものすごく大事だし面白そうな仕事だな、と思ったことが入社の一きっかけです。

佐藤: 私も、もともとはモノを形にできる開発エンジニアを目指していましたが、開発過程では欠かせない専門の技術を身につけられることに魅力を感じて入社しました。

三宅: 私は元々ゲームが好きで、バグ技ってなんで生まれるのだろうと興味を持っていたのですが、まさにクオリティエンジニアはその探求をする仕事であることを知り、入社を決意しました。IT業界は未経験でしたが「勉強すればなんとかなる」とポジティブに考えていました。

佐藤: 同期には文系出身の人が何人もいますし、経験がある人の方が稀な気がします。それに、2ヶ月間の入社時研修やその後のフォローが充実しているという話を聞いていたので、不安はあまりなかったですね。



江原: テストや品質管理については右も左もわかっていなかったのですが、入社時の研修では基本の「き」から丁寧に教えていただけたので業務に必要な知識や技術をしっかりと身につけることができました。

佐藤: 質問をした際も、ただ正解を教えるのではなく「なんでこうなると思う?」と自分で考え、理解できているかどうかを確認しながら進めてくれたのが印象的でした。案件レポートの作成も、すべてレビューをしてくれますし、なぜダメなのかという理由まで必ず併せて説明してくれます。

江原: 現場に出てからは、担当中の案件に似ている過去の案件資料を見て、システムごとの不具合の種類や解決方法など、参考になりそうなことをピックアップして、とにかく自分の引き出しを増やすことを意識しました。



三宅: IT業界は目まぐるしく変化するので常に学び続ける必要がありますが、その分、自分の技術として身に着き、蓄積されていくのは楽しくなってきますね。

江原: 興味だけでこの業界に入りましたが、好奇心とそれを実践・体験しようとする行動力があればやっていけると思います。

佐藤: 案件に配属された際には、先輩社員が丁寧に教えてくれますしね。IT業界はまだまだ成長期ですし、とりわけ品質保証業界は特にその傾向が顕著なので、少しでもこの業界に興味がある人は、ぜひバルテスに飛び込んでみてほしいです。



第1ソフトウェアテスト事業部
フィナンシャルシステム品質
サービス部

三宅 正隆

Profile: 大学院卒業後、不動産会社での営業経験を経て、2018年にバルテスに入社。現在は、決済系サービスを展開している企業にて、APIのテストを担当中。



第1ソフトウェアテスト事業部
Web・IoT品質サービス部

佐藤 優美

Profile: 2019年4月に新卒で入社。大学では発達認知心理学を専攻。現在は、ECサイトを運営する企業のテストを担当中。



第1ソフトウェアテスト事業部
フィナンシャルシステム品質
サービス部

江原 僚太

Profile: 2017年4月に新卒で入社。大学では外国語を専攻。現在は、生命保険会社にて、保険業務管理システム全般のテストを担当中。案件のリーダーとしても活躍している。

ソフトウェア製品が世に出る前の「最後の砦」！ 品質向上の重要性を社会に広めるバルテスの営業

まだまだ未開拓の市場であるソフトウェアテストだが、
IT技術の進化とともに、高まり続ける重要度。そこに、営業のやりがいがある。



ソフトウェア製品の 品質向上に貢献できる喜び

入社当時、IT技術は進歩し、複雑化が進んでいたにもかかわらず、ソフトウェア製品の品質向上の重要性は、あまり浸透していませんでした。そのため、自分自身が、ソフトウェア製品の品質向上の重要性を広めていくことができるのは、とても意義のあることだと感じ入社を決意しました。

バルテスは「品質にコミットし、安心・安全なICT社会の実現に貢献すること」を企業理念に掲げています。そのため営業は、決まったモノやシステムを売るわけではなく、お客様の課題を当社のサービスを以て解決するスタイルです。一方で、当社のソリューションが特定領域に特化している反面、お客様の持つ課題を自社だけでは解決できない時には、歯がゆい気持ちになります。

その為、社内のソリューションだけでなく、幅広いIT知識やトレンドを日々吸収し、猝に捕らわれない解決策を講じることができるように常に意識しています。



今まで関わった業務の中で特に印象に残っているのは、ある金融企業様の基幹システムリプレイスプロジェクトにおけるUAT支援※です。このプロジェクトは予算も大きく、お客様にとっても非常に重要なプロジェクトでした。

しかし、ステークホルダーが多いプロジェクトであったため、当社がサポートをするまでは計画通りに作業が進捗せず、スケジュール通りにリリースできるのか危うい状況にあったのです。その中で当社は、技術部門、営業部門、上層部と情報連携を密に行うことで、プロジェクト状況に応じた体制構築をフレキシブルに提案し、実行しました。

その結果、スケジュール通りにプロジェクトは進み、期待されていた「安定した品質でのシステムリリース」も無事達成。プロジェクト終了後は、先方の社長にまでも直々に御礼をいただきました。

そのシステムは、多くの人々が利用する身近なシステムだっただけに、社会への貢献意識も強く感じられました。世の中に新しく出るサービスに携わる機会も珍しくない中で、バルテスが携わるプロジェクトが成功した時は、とても嬉しい気持ちになりますね。

ニーズを最先端でキャッチし、 課題解決に貢献

私の目標は、新しいソリューションを生み出し、一定の成果を出す事です。顧客のニーズ、世の中のニーズを最先端でキャッチし、自社で持つ資産+αで解決できる営業マンを目指したいと思います。

※UAT…システムが、ユーザのニーズ、要件、ビジネスプロセスを満足するかをチェックするための受け入れテストのこと。このテストにより、システムが受け入れ基準を満たしているかどうかを判定したり、ユーザ、顧客、その他の認可団体がシステムを受け入れるかどうかを判定したりすることができる。



営業本部 営業部
マネージャー

武本 葉史

Profile: 新卒で、独立系SI企業の営業職に従事。金融業界のお客様を中心とした部署に所属し、新規アプリケーションの開発、パッケージシステム導入やその後の保守体制に関する提案を行ってきた。その後、2013年に営業としてバルテスに入社。現在は、マネージャーとして、後輩の育成にも尽力中。



Change Japanese software.

日本のソフトウェア品質をより高みへ！
本気でそう思う仲間といっしょに顧客貢献していく喜びを体感できる企業。

未経験から高いエンジニア技術を持つメンバーまで
「テストの力でIT業界を変えていく」という志を同じくし、活躍しているバルテス。
日本のソフトウェア品質向上に貢献していくワクワク感が溢れている。

バルテスの理念に賛同してくれる人といっしょに

2004年、ほんの数名でスタートしたバルテス。そこから期を重ねるごとに志を同じくする仲間が増え、
全社一丸で事業成長に進進してきました。

その中で私たちがいつも考えてきたことは「どんな人と一緒に働きたいか」ということ。

バルテスでは開発を経てキャリアチェンジしたメンバーもいれば、
未経験からエンジニア技術を習得したメンバーまで幅広く活躍しています。

そこに共通しているのは、理念に賛同し、テストビジネスにワクワクでき、
もっともっと顧客貢献しIT業界をテストの力で変えていきたい！という想いや意欲。

本気でそう思っていたいただける皆さんと共に、バルテスは日本のソフトウェア品質をより良くしていきたいと願っています。